

新事業の墓守りサービス開始

私たち法人の就労支援作業は、企業からの部品受注作業や資源回収が主で、そのほか缶バッチ作り、彼岸花の製造販売等を行っておりますが、近年全体の受注量等も落ちてしまい、それらに伴う収入額も減少傾向が続き、「ご利用者に対する工賃にも影響が懸念される」と言う法人の課題でもありました。

そこでこのたび広告チラシにも記載しましたように、高齢社会や一人暮らし問題に対応した「墓守りサービス」としてお墓参りやお墓そうじを始めることにいたし、「ご利用者と共に市内原町区内の各寺院を訪問するなどして営業活動をして来ます」。

当法人では幸いと申しますが、彼岸花づくりも行っており、「ご希望の方には春彼岸には心のこもった彼岸花をお供え出来そうです」。



北町福祉委様寄贈

毎年、地元の福祉委員会様が来訪時期ですが、今年も8/6 嵯峨会長と鹿山様がひばり、ポニーを訪問され暑さに負けないようにと飲料水各2箱お届け頂きました。本当に有難い事で、各利用者一同感謝の一言です。お陰さまで今夏の猛暑も無事乗り切ることが出来ました。



かぼちゃの収穫



今年も施設南側にある土手にかぼちゃ、そしてプランタを利用してミニトマトを植えました。朝晩も水やりから受粉とまるで子供を育てているようにさえ思ってしまう。トマトもかぼちゃも昼食時に皆さんの腹のまち(原ノ町?)に届きましたが味は格別美味しかったね。

なんの鳥～？

皆さんはどんなトリに見えますか…実は当法人志賀戊理事長宅の庭先にあるのです。ひばり？白鳥？私はどう見ても「リジ鳥(チョウ)」に見えてしまいます



編集後記

(H 30. 10. 1)

障害者雇用促進法に基づき昭和51年から一定割合以上の障害者を雇うように義務付けている雇用者数や雇用率を旗振り役であるべき省庁が水増しするという虚偽問題は絶対許すことが出来ませんよね。

平成28年4月には「障害者差別解消法」が施行され、障害のある人も、そうでない人も、共に生きる共生社会を実現することにしただけにとても悔しい思いでいっぱいです。



安全対策は万全
いつどこでどんな事件が起きるのか分からない世の中です。ご利用者の命を守る手立ては出来るものから取組んで参ります。

その一、不審者が侵入してきた時の防具「きすまた」を各事業所に各二組備えました。その二、火災等で避難経路の確保策として、キクチ北町店の西側フェンス越しに逃げられる非常扉を新設しました。